

作成日：2009年11月09日

改訂日：2024年05月01日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	サニファイターA
供給者の会社名称、住所及び電話番号	セッツ株式会社 大阪府堺市西区築港新町1-5-10 072-280-0920
想定される用途及び当該用途における使用上の注意	食品工場・厨房等の機器・調理用具・作業台・床・壁の除菌

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	
急性毒性(吸入:ミスト)	区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
皮膚感作性	区分1
特定標的臓器(反復ばく露)	区分1(気道)
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1

注記: 記載のない場合は「区分に該当しない」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかである

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有害(ミスト)
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による気道の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
- 皮膚刺激又は発しんが生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に

連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

気分が悪いときは医師の診察／手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名または一般名	濃度又は 濃度範囲(%)	CAS番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
水	バランス	7732-18-5	—	—
ポリヘキサメチレンピグアナイド	10～20	32289-58-0, 27083-27-8	7-1729, 1-215	既存

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚刺激又は発しんが生じた場合は医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪いときは、医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性もしくは有毒なガスを放出する。
特有の消火方法	安全に対処できるならば着火源を除去すること。 危険を避けられれば燃焼源の供給を止め、容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは移さない。 消火作業は風上から行う。
消火を行なう者の特別な保護具及び 予防措置	消火作業の際は、適切な保護具（手袋、マスク等）を着用する。 燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、呼吸保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び 緊急時措置	周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
---------------------------	---

環境に対する注意事項	作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れ出した物質の河川、下水、排水溝、低地への流出を防止し、環境への影響を起こさないよう注意する 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、スコップ、ウエス等で容器に回収する。 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。 回収物はラベルを貼って密閉できる空容器に保管し、安全な場所に移す。
二次災害の防止策	漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

排気/換気設備を設ける。

容器はその都度密栓する。

皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。

保護具を着用すること。

接触回避

情報なし

衛生対策

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

容器は密閉して漏れないようにすること。

日光の直射を避ける。通風のよいところに保管すること。

40℃以上の高温、加熱、多湿、凍結条件下は避けること。

安全な容器包装材料

ポリエチレン、ポリプロピレン

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

許容濃度

・ポリヘキサメチレンビグアナイド

TWA 0.012 mg/m³ (Internal OEL)

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

屋内作業の場合は、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるようにする。

保護具

呼吸用保護具

状況に応じ適切な保護マスクを着用する。

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

化学防護手袋の材質は下記を推奨する。

(皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアルより)

より好ましい材質:

ニトリルゴム、天然ゴム(ラテックス)、ブチルゴム、ネオプレンゴム、ポリビニルアルコール(PVA)、バイトン/ブチル、ネオプレン/天然ゴム、ニトリル/ネオプレンゴム、ポリ塩化ビニル/ニトリルゴム、多層フィルム(LLDPE)、多層フィルム(EVOH)

眼、顔面の保護具	必要に応じ、取扱物質、作業内容等を保護具メーカーへ連絡し、化学防護手袋の選定の助言を受ける。
皮膚及び身体の保護具	保護眼鏡/顔面保護具(ゴーグル型)を着用する。
特別な注意事項	状況に応じ保護衣を着用する。(浸透しない材質であることが望ましい。) 保護具は定期的に点検する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色～淡黄色透明
臭い	原料臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	引火せず(水が沸騰する)
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	4.0 (原液・25℃:代表値)
動粘性率	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	金属を腐食し、水素ガスを発生する。
避けるべき条件	強酸、強アルカリ、酸化剤 鉄、銅及び真ちゅうなどの金属との接触。
混触危険物質	強酸、強アルカリ、酸化剤
危険有害な分解生成物	炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	(ポリヘキサメチレンビグアナイド) 区分4 ラット LD50=501 mg/kg
急性毒性(経皮)	(ポリヘキサメチレンビグアナイド) 区分に該当しない ラット LD50>5000 mg/kg
急性毒性(吸入:ミスト)	(ポリヘキサメチレンビグアナイド) 区分2 ラット LD50=0.37 mg/L (4h)
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	(ポリヘキサメチレンビグアナイド) 区分2A ウサギ 眼への刺激
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	(ポリヘキサメチレンビグアナイド) 区分1

生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	(ポリヘキサメチレンビグアナイド) 区分1(気道)
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	(ポリヘキサメチレンビグアナイド) 区分1 藻類(緑藻) ErC50=0.019mg/L (72h)
水生環境有害性 長期(慢性)	(ポリヘキサメチレンビグアナイド) 区分1 甲殻類(オオミジンコ) NOEC=0.0084mg/L (21day)
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	環境への放出を避けること。 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律や関係する法規に従って処理を行うか、委託する。 容器、機器、装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さない。 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
---	---

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	3082
品名(国連輸送名)	環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの
国連分類	9
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
国内規制	陸上輸送は消防法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送は船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送は航空法に定められている運送方法に従う。
陸上規制情報	非該当
海上規制情報: 船舶安全法	
国連番号	3082
品名(国連輸送名)	環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの
国連分類	9
容器等級	III

航空規制情報: 航空法

国連番号	3082
品名(国連輸送名)	環境有害物質、液体、他に品名が明示されていないもの
国連分類	9
容器等級	III

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。容器の転倒、落下、破損の無いよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
応急処置指針番号	171

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質排出把握管理促進法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (営業秘密にあたるため含有量を幅表記している) ・ ポリ[グアニジン-N・N'-ージルヘキサン-1・6-ジイルイミノ(イミノメチレン)]塩酸塩 (2024年4月1日より) 10~20%
毒物及び劇物取締法	皮膚等障害化学物質 該当 ・ ポリヘキサメチレンビグアナイド
船舶安全法	非該当
航空法	有害性物質 その他の有害物件

16. その他の情報

参考文献

- 「JIS Z 7252:2019」(日本規格協会)
- 「JIS Z 7253:2019」(日本規格協会)
- 「安全データシート(各成分)」(各原料メーカー)
- 「職場のあんぜんサイト」(厚生労働省)
- 「GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針」(日本化学工業協会)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。
輸出に際しては、各国法規の確認調査が必要となります。